



(6)ムスリム旅行者への対応(分科会設置予定)

【アクション】

①ムスリム旅行者のニーズ把握

○専門家や造詣の深い方からムスリム対応のニーズを調査する。

②昇龍道モデルコースの設定(実証実験)

○ムスリムのためのモデルコースの設定のための基準について検討する。

○モデルコースの設定に協賛するホテル、観光施設、レストラン、交通事業者等を募集し、選定をする。

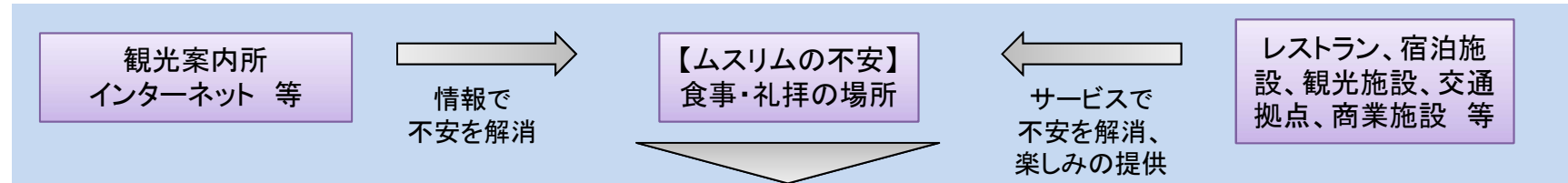
○モデルコースの設定に協賛するホテル、観光施設、レストラン、交通事業者は、基準に基づく整備を行う。

○昇龍道地域を周遊できるモデルコースを設定し、モニターツアーを実施、商品化につなげる。

中部・北陸地方広域連携に関する訪日外国人旅行者の受入環境整備事業 ムスリム対応に関する受入環境整備

■事業実施方針

目指すこと：『ありのままの日本・昇龍道を楽しむ』
まずは必要最低限のムスリム対応で、安心して昇龍道エリアを楽しむために



ムスリムフレンドリーなエリア“昇龍道”の構築

ムスリムへの情報提供

- ・選択・判断できる情報提供
(豚・アルコールの使用有無)
- ・利用しやすい情報の提供
(ハラル食レストラン、モスクなどの礼拝所・礼拝スペースの情報提供)

【本事業における実施内容】

- ・ムスリムへのグループヒアリング
- ・ムスリムによるモニターツアー
- ・有識者ヒアリング
- ・専門家からのアドバイス 等

ニーズ把握

受入側への支援

- ・必要最低減の対応
(原材料表記、アルコール明示)
- ・ムスリムへの気配り(礼拝スペース確保、同性接客等)
- ・おもてなしの充実

【本事業における実施内容】

- ・観光関連事業者・自治体アンケート
- ・他地域事例調査およびヒアリング
- ・受入環境整備の状況把握 等

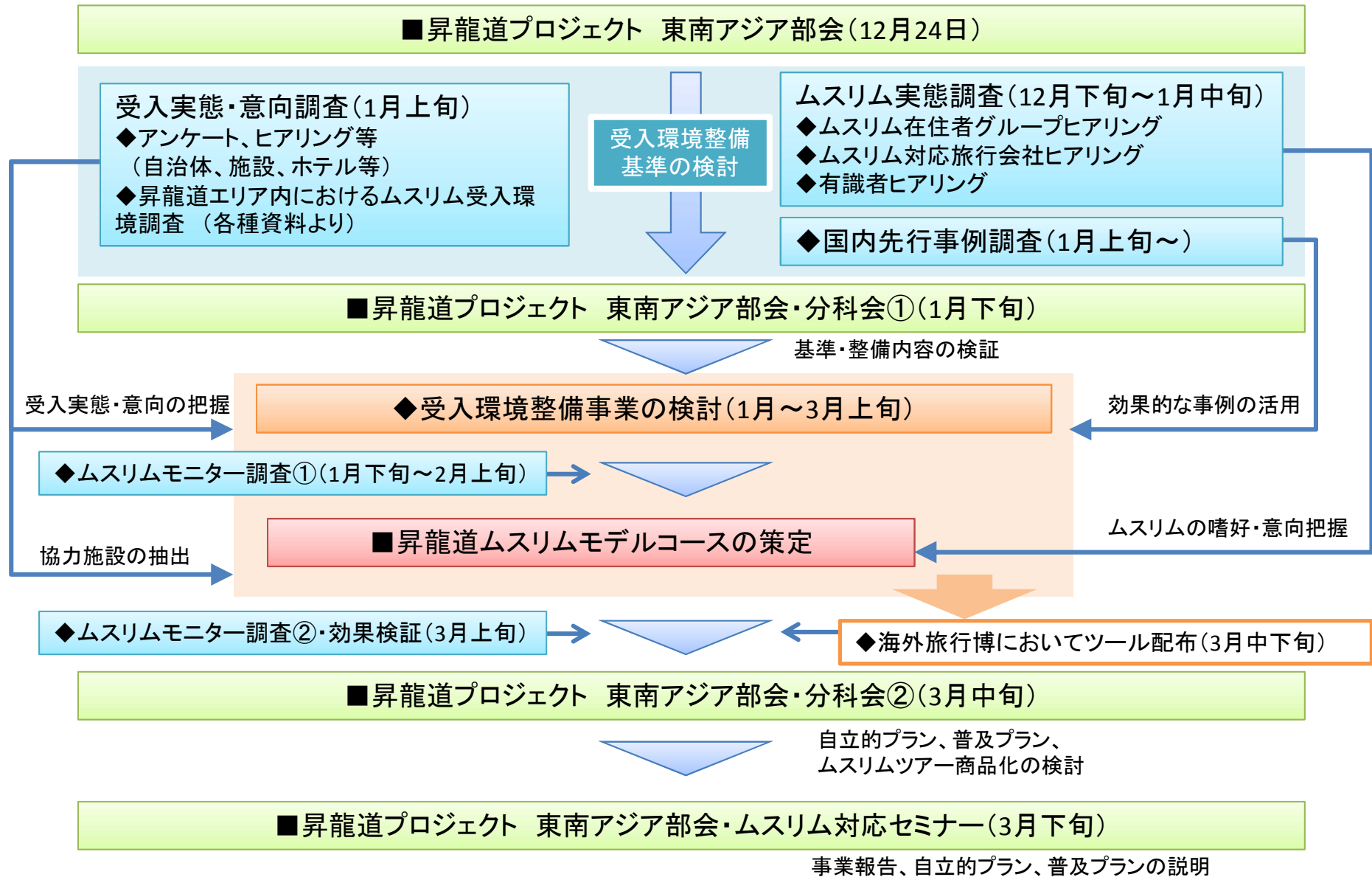
現状把握、整備可能性把握

利用者向け、受入施設向けの支援ツール作成、支援整備

ムスリムの旅行先として選ばれる昇龍道エリアの形成

中部・北陸地方広域連携に関する訪日外国人旅行者の受入環境整備事業 ムスリム対応に関する受入環境整備

■事業実施フロー



中部・北陸地方広域連携に関する訪日外国人旅行者の受入環境整備事業 ムスリム対応に関する受入環境整備

■事業内容(案)

ムスリム受入環境基準

各種調査を踏まえ、ムスリムのための受入環境整備レベルの基準化

ムスリム旅行者への受入環境整備事業

ムスリム受入環境モデル整備

- 礼拝サポートツール整備
(キブラ設置、礼拝マット整備 等)
- 宿泊施設ビュッフェ等における原材料表示プレートの作成
- レストラン等におけるメニュー表記のリニューアル

旅行ガイドの整備(昇龍道for ムスリムビジターズ)

- ムスリムフレンドリー施設(レストラン、商業施設等)
- 礼拝場所(モスク、その他)
- ムスリムに好まれる観光スポットおよび代表的なモデルコース(例)
 - ・雪と桜の昇龍道(3泊4日、FIT向け)
 - ・雪と桜と和食の昇龍道(4泊5日、団体向け)
 - ・昇龍道の雪と新緑と富士山(5泊6日、団体向け)
- 交通機関利用情報
- 日本独特の風習、マナー
- ムスリムのための安全・安心情報

観光関連従事者への受入環境整備事業

ムスリム受入対応マニュアルの作成

- ムスリムの特性(ムスリム人口、食事制限、礼拝、喜ばれる施設等)
- ムスリムへの接客方法(食事制限、異性接客をしない、接触をしない、聖書・仏典を置かない)
- ムスリムへのサービス(礼拝場所の提供、礼拝時間の把握、礼拝マットの貸出、キブラ設置、手足洗い場の提供、食材の表示、調味料の提供、Wi-Fi場所の明示 等)
- ムスリム対応施設の把握
(主なハラールレストラン、モスク等)
- 緊急時の対応方法(緊急時ホットラインの明示)
- 挨拶集(マレーシア語、インドネシア語)

観光関連事業者向けムスリム対応セミナー開催

- ムスリム受入対応マニュアルの説明
- ムスリムによる、接客の心得・整備すべきポイントの紹介 等